

## タウンミーティング 会議録

日 時：平成25年11月28日（木） 19：00～20：35

場 所：黒部市国際文化センターコラーレマルチホール

テーマ：北陸新幹線開業に向けて 黒部市の魅力をさらに高めるために

- ①名水ロードレースのフルマラソン化について
- ②新川育成牧場の活性化策について
- ③立山黒部ジオパーク認定を目指して

参加者：163名

### 【事務局】

会場にお集まりの皆様、ご苦労さまです。

ご案内の時刻になりましたので、ただいまから、平成25年度「市長と語ろう タウンミーティング」を開催いたします。

今回のテーマは、～北陸新幹線開業に向けて 黒部市の魅力をさらに高めるために～を主題におきまして、

- 1点目に、名水ロードレースのフルマラソン化について、
  - 2点目に、新川育成牧場の活性化策について、
  - 3点目に、立山黒部ジオパーク認定を目指して
- の3テーマを提案させていただくこととしております。

最初に20分あまりお時間をいただきまして、市長からテーマのご説明を申し上げます。会場の皆様には正面のスクリーンをご覧になりながら、お聞きいただきたいと思っております。

説明後、会場の皆様方からテーマについて順次、ご意見、ご提言をお受けし、意見交換することとしておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、終了時間は午後8時30分ごろを目途として進めていきたいと考えております。

また、先ほど受付でアンケート用紙をお配りしております。今後のタウンミーティングの参考とさせていただくほか、ご発言できなかった皆様からも自由にご意見を記載していただき、市政運営の参考とさせていただくこととしております。

お帰りの際、受付で回収させていただきますので、記載のほう、よろしく願いいたします。

それでは、堀内市長から、本日お集まりいただきました皆様へのごあいさつとテーマに関しまして、基本的な考え方を述べさせていただきます。

### 【市長】

皆さん、こんばんは。本日は、師走も間近に迫り大変ご多用の中、寒い中、また、仕事を終えられ、大変お疲れのところ、タウンミーティングにご参加いただき、心から感謝を申し上げます。

さて、本市は合併後、新しい「黒部市」としてスタートし、8年目を迎えております。

まちづくりの方向性を示す第1次総合振興計画は、本年度から後期5カ年の基本計画が

スタートしております。前期5カ年における事業につきましては、政権交代や東日本大震災の発生など、大きな変化がありました。一部事業の見直しや再構築を行うなど柔軟に対応し、皆様がたのご支援のお蔭をもちまして、おおむね順調に推移することができたものと思っております。

現在は、後期計画に基づき各種施策の推進に鋭意取り組んでいるところであり、大きなところでは、新市庁舎が先月いよいよ着工となり、市民病院の改築も進むなど、本市の顔となる施設の整備が着々と進んでおります。

また、平成26年度末に開業を迎える北陸新幹線の駅周辺整備事業もその姿がみえてまいりました。来月2日には、黒部宇奈月温泉駅まで県内初となる新幹線の試験車両がやってきます。皆様も、その姿をご覧になりますと、開業が間近に迫っていることを実感されるものと思います。

この新幹線開業という大きなチャンスを活かし、黒部を訪れる方々に「また訪れたい」と思っただけのように、黒部の魅力をさらに高めていかなければならないと考えているところであります。

そこで、今日は黒部の魅力をさらに高めるために、是非とも実現させたいと考えている3つのテーマについて提案させていただきます。

皆様も一緒に考えていただき、さらに良いものにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、説明に入らせていただきます。

### 詳細については、「課題提起」をご覧ください。

#### 【事務局】

ただいま、市長から本日のテーマについて提案がございました。

このテーマについて、会場の皆様からのご意見やご提言をお受けいたしたいと思っております。

発言は、係の者がマイクをお渡ししますので、地区名、お名前についで、ご意見を述べていただきます。

もう一つお願いがあります。このタウンミーティングでは、限られた時間の中でできるだけたくさんの方からご意見を頂戴したいと考えております。発言は簡潔に、お一人3分以内でお願いいたします。

それでは、どのテーマからでも結構です。発言されたい方は挙手をお願いします。どうか、おられますでしょうか。

#### 【田家 Aさん】

私はフルマラソンについて、お話ししたいと思います。カーターロードレースの時に、おもてなしとして、名水豚を使った豚汁、漁協女性部によるカニ鍋を提供しております。くろべ女性団体連絡協議会に属する9つの団体で、400食提供できる鍋で、一日13回作っております。しかしながら、フルマラソン化で人数の増加が見込まれる中、女性団体の会員だけでは足りないのです。この場をお借りし、会員以外の方のお力を貸していただきたいと

考えておりますので、よろしくお願いたします。

また、鍋などのおもてなし方法を学びたいと思い、岐阜県の揖斐川マラソンを見に行っ  
てまいりました。揖斐川は、2万人ほどの人口のまちで、1万人以上の方がフルマラソン  
やハーフマラソンを走られます。気候的には11月ということもあり、今日のような非常に  
寒い日で、昨年も今年もあまり変わらなかったそうです。にもかかわらず、1万人以上  
の方が走られるマラソンとはどのようなものかと思いながら、見に行きました。そうしま  
すと、町を挙げ、たくさんの方々がスタッフとして関わっておられたことがわかりましたし、  
高校生がバナナやバスタオルを配っていたりしていました。バスタオルを配付についても、  
雨に濡れないようにテント内で保管し、走り終わったランナーの肩に一つ一つかけて配る  
といった思いやりが見られました。応援部隊はシャトルバスで折り返し地点付近に行くこ  
とができ、たくさんの皆さんがランナーとハイタッチし、「がんばって」「ありがとう」  
といった声が飛び交い、熱気に包まれておりました。

フルマラソンが実現するのであれば、決定しているとは思いますが、黒部市において  
も、どこどこで応援してくださいというのではなく、安全に応援でき、応援する人とラン  
ナーが一体感を味わえるような場所を準備し、そこへのシャトルバスも運行するなどの行  
政による配慮もお願いしたいと思っております。ハイタッチして応援したいなと思ってお  
ります。市民の一員として、ぜひ関わりたいと思っております。市長さん、ぜひシャトルバスの運行をお  
願いします。そして、地区を挙げて、応援に行きたいと思っております。

#### 【事務局】

ありがとうございます。この際、もうお1人かお2人からご意見をお聞きし、まとめ  
て市長から回答させていただきたいと思っております。

どなたか、ございませんか。

#### 【宇奈月 Bさん】

新川牧場の活性化について、2つほどお願いします。観光拠点施設としての新川牧場と  
いうことでしたが、現在新川牧場に至る道は大変狭く、曲がり角が多い状態です。車や観  
光バスの擦れ違いも非常に大変な状態です。この状態で観光拠点とするのはなかなか難し  
いのではないのかと思っており、まず、道路のインフラ整備を進めるべきではないでしょ  
うか。道路が整備されると、観光ポイントである宇奈月温泉、魚の駅の生地と新川牧場で  
トライアングルができますので、新幹線に向けて、シャトルバスの運行ができるのではな  
いでしょうか。観光施設ということで、牧場らしさを活かし、山羊や羊、ウサギなどの小  
動物と家族で気軽に触れ合える場や、アスレチックやキャンプ場の整備をされてはいか  
がでしょうか。

最後にもう一つ、現在の新川牧場の食についてです。先ほど、新川牧場のこだわりの商  
品の開発とおっしゃっておられたのですが、現在バーベキューハウスもやっておりませんし、  
モーガーデンについても食べる物があまりありません。食べるスペースも少なく、滞在時  
間もなかなか長くなりません。新聞にも掲載されておりましたチーズケーキやタルトとい  
う新製品販売について、先ほどおっしゃっておられましたが、名水ポークに並ぶ、独自ブ  
ランドの名水黒部牛等の検討もされてはいかがでしょうか。

また、モーガーデンでしか食べることができないもの、モーガーデンでしか提供できないものも考えていただきたいと思います。

新川牧場からの眺めは個人的にも大変きれいだと思っています。特に夜景がきれいなので、夏の期間限定でもよいのですが、夜間営業を検討されてはいかがでしょうか。夜景の中で素晴らしい食事ができるように環境づくりをしていただきたいと思います。

モーガーデンの場所を民間への貸し出しができるようにしていただき、イベント等への使っていただくことができるようにしていただければよいのではないのでしょうか。ロケーション的には新川で一番きれいなところだと思っておりますので、ぜひ使わせていただきたいと思っております。

#### 【事務局】

ありがとうございました。ただいま、A様からフルマラソンについて、B様から新川牧場の活性化策についてご意見がございました。この2点、合わせまして市長から回答をいただきたいと思います。市長、よろしく願いいたします。

#### 【市長】

ご質問をありがとうございます。

まず、フルマラソンの件についてであります。今年第30回大会で6,800人ほどのランナーの方の参加でありましたが、来年は8千人、その次は1万人ということで、カニ鍋や豚汁をやっていただき、それが非常に人気であることも承知しております。その部分のボランティアを増やすということと、ちょうど使いやすい鍋の大きさがあるようですので、それらの備品につきましても、これ以上準備することがなかなか難しいということも聞いております。計画的に増やしていきたいと考えております。人とモノは準備してまいりたいと思います。

岐阜の揖斐川のお話しもされましたが、実は私も日曜日に行ってまいりました。大変な雨で、寒い日でありましたが、非常に熱気を感じました。会場につきましては、集合する場所も駐車場も黒部に比べて、どちらかというあまり整っていない場所でありました。駐車場もなければ、会場に近づいても、どこに人が集まるのだろうかと思うくらいでしたが、先ほどの説明でもありました、人気マラソン大会100選で上位となり、1万人の参加者なのですが、申込みが開始してすぐに満杯になるくらいほどの人気マラソン大会であります。どうしてだろうかと見ておりましたところ、やはり最後のゴールした時の感動といいますか、雨の中にならず濡れになって帰ってきたランナーに対し、女子高生がバスタオルを背中に必ず広げてかけてあげるとか、笑顔で迎えてあげるとか、なぜかゴール直前に、「〇〇さん、もう少しです。がんばってください」や「〇〇さんの走りは感動しました」という放送による声掛けが入り、ゴールを迎えられるのです。なぜ名前がわかるのかと思いましたが、あるポイントにおいて入ってくる方の番号を双眼鏡で確認し、そこから名簿で名前を調べて、女子高生による放送で迎え、おもてなしのゴールというか、感動のゴールをさせてあげる、あの終わり方がすごいのだなと思えました。そういった見習う点が多々ありました。

揖斐川と黒部で大きく違っている点がもう1つあります。1万人の参加者中で、地元

の方がほとんど走っていらっしやらないという点です。今年で25回を迎えていらっしやいますが、県内外から来られる参加者がマラソンを楽しんでいただくために、地域を挙げてもてなしに徹底しておられ、もてなす側に全員がまわっていらっしやいます。ジョギングや3km、5kmはなく、ハーフマラソンやフルマラソンは一般の人がすぐいきなり走ることができるものではありません。お迎えし、みんなで歓迎し、応援するという大会です。

それに対し、黒部はもともとカーターさんが趣味でジョギングを走られたことを契機とし、始まった大会であります。やはり、地元みんなが健康づくりや体力づくりをするため、地元みんなが楽しむためのスタートした大会だと私は思っておりますので、3kmや5km、ジョギングは残したいと私は考えております。また、フルマラソンは市外県外の方が中心なるだろうと思っております。いずれかの種目で自分達が楽しみ、フルマラソンに来られた市外県外の人をもてなすということをしていかなければならないという点がなかなか難しいと考えております。フルマラソン準備室のメンバーとも、黒部は両立していかなければならないと話しておりました。揖斐川の地域外の人に対するもてなし方は非常に参考になりました。また、応援シャトルも考えていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

次に、Bさんの質問についてですが、牧場に関する質問がたくさんありましたので、簡潔に申します。

まず、牧場に至る道が狭くわかりにくいという点については、認識しているところであります。道路は、すぐに全部拡幅することはできないので、すれ違えるように、県道である中山田家新線については、県で順次工事をしていただいているところであります。市道については、市で計画的に整備を進めていきたいと考えております。

それから、生地、牧場、宇奈月のシャトルバスは実験運行でどのようなニーズがあるのかを調査をさせていただきながら、利用者が確保できる見込みがあれば、シャトルバスの運行も検討してまいりたいと考えております。

子牛が乳牛になると酪農家に戻すというこれまでの育成牧場から、肉牛も育てながら、名水黒部牛までできるどうかはわかりませんが、酪農を広げてまいりたいと考えておりますので、食につきましてはミルクと肉がメインになっていくと考えております。ミルクを利用したケーキやチーズのようなものについては、オリジナルのものを拡販してまいりたいと考えております。

営業時間につきましても、冬期間、夜間営業等いろいろな意見があります。黒部市直営となりましたから、今までと違った牧場形態で運営しております。費用対効果を考えながら、いつどこまで広げていくかという計画を作っております。需要があれば、夜間営業、年末年始の期間限定営業とするのか、冬期間続けて営業するのか、いろいろ検討したいと考えております。今言われておりましたように、立地につきましては県内でも大変すばらしい場所だと思っておりますので、そういったところを活かしながら牧場を発展させていきたいと考えております。バーベキューハウスなどにつきましても、ある期間だけでなく、通年的にできないかということも研究しております。そのあたりの計画を来年3月までにまとめてまいりたいと考えております。

【事務局】

A様、B様、よろしいでしょうか。それでは引き続き、ご発言をいただきます。

【石田 Cさん】

新幹線駅については、新川地区唯一の駅であります。これからは観光がメインになりますので、新幹線新駅から宇奈月までや生地など各地を観光するシャトルバスの運行実験を、各地の特産を活かしながら地域活性化につなげるというのはいかがでしょうか。

【事務局】

本日のテーマと少しずれるかもしれませんが、今の点につきまして、市長からお願いします。

【市長】

2, 3人聞いてもらってからで。

【事務局】

では、続きまして。

【浦山 Dさん】

樺平でナチュラルリスト研究会に所属しており、お客様の案内をしております。立山でもやっておりますが、立山は意外とやりやすく、樺平はトロッコで来られてすぐに帰られるお客様が多いので、難しいところです。今回、ジオパークの認定を目指しておられるということをお聞きしまして、私たちも白山に研修に行っていました。朝早くからバスに乗り、ジオパークはどのようなことをしておられるのかと思っておりました。案内していただいた方には非常に熱心に解説していただきました。黒部に似たような湧水の場所を紹介していただき、ジオパークの認定の際には非常にいろいろな難問題があったという話が記憶に残っております。それでも、限られた予算で、既存施設に案内板を加えるなどして利用した話も大変なご苦勞をされたということを知ることができました。広い範囲をバスで長時間回ったため、大変疲れましたので、ジオパークを回る際はゆっくりと観光していただくのがよいのではないかと思います。また、解説をする経験上、自分が感動しないことをお客さまに口先だけで伝えても、感動をしていただけませんので、秋に樺平ビジターセンター開館記念で祖母谷を案内したのですが、自分も峡谷美が好きなので、お客さまに感動を伝えることができよかったと思っています。ジオパークに認定されると、糸魚川のフォッサマグナミュージアムのような施設をどこかに建てるお考えはあるのでしょうか。樺平ビジターセンターを拡充するとか。そういったことがありましたら、お聞かせください。

それと、ナチュラルリストは年配者が多くなっております。若い人にもナチュラルリストになっていただくことのように、教育機関での紹介を行うことや、県ではジュニアナチュラルリストというのを認定しておられますが、黒部でもそういったことをお考えですか。小さなころから自然に関心を持つということは多岐に興味が増えることができるようになりますので、ぜひそういった取り組みをしていただきたいと思います。

【事務局】

それでは、もうお一方、どなたかいらっしゃいますでしょうか。

【下立 Eさん】

今、市長からいろいろお聞きしました。いろいろな観光客の方と話をしておりますと、新川牧場は夕陽が日本で一番きれいなことがポイントではないかということです。新潟の瀬波温泉などでは夕陽が美しいホテルということで集客しているところですが、そういうことで、日本で一番夕陽がきれいな牧場で特化するのはいかがでしょうか。そうすることで、写真家が集まったり、結婚式をするといった波及効果が出るのではないのでしょうか。それらを発信することにより、人が集まるのではないのでしょうか。

牧場の件ですが、牛やヤギなど育てていかなければいけないということで、市の税金だけでは難しいのではないのでしょうか。木のオーナー制にならって、牛のオーナー制を導入するのはいかがでしょうか。都会の方にオーナーになってもらい、誘客につなげ、体験学習につなげるということもご検討いただければと思います。

また、下立にも、穴の谷の水に負けない名水があります。そういうような地区の老人会などの組織から知識を吸い上げ、滞在型観光の力としていただきたいと思いますと考えております。以上です。

【事務局】

ありがとうございました。ただいま、C様、D様、E様から3点質問を承りました。市長の方から回答いたします。

【市長】

まず、Cさんの話についてですが、周遊バスについては、今回「にいバス」ということで実験はさせていただきました。PR不足ということもあるのですが、地元のみなさんが乗られるよりも市外県外の方が乗られることを想定されるものでしたので、結果的には利用者はそれほど多くなかったわけなのですが、しっかりPRをしながら、実験を続けていくというのは非常に大事だと思っておりますので、実験の中で周遊バスみたいなものが運行できればいいのかなと思っております。ただ一方で、地鉄との関係があります。シャトルバスや周遊バスのようなものを充実させればさせるほど、地鉄の利用者が伸びなくなるということで、新幹線新駅の近くに地鉄新駅である新黒部駅が整備を始めましたが、この地鉄をみんなで利用し、将来も地鉄をしっかり運行していただくというのも、この地域にとって大変大きなテーマであります。そのあたりのバランスをよく考えながら、進めたいと思っております。

次に、ナチュラルリストをやっておられるDさんの話、ジオパークについてであります。糸魚川にあるような、ジオパークに関する建物を建てる計画がありますか、ということでしたが、今のところ、そのような考えはありません。今、先ほどからいろいろ説明しております、この地域にとっての大きな特長である、いろいろなジオサイト、見所がたくさんありますので、それらを見てもらえるようなルートづくりやそこまでの交通手段な

どをこれから研究してまいりたいと考えております。

それから、ナチュラリストが高齢の方が多いいというのも事実で、現実だと思います。ジュニアのナチュラリスト養成も非常に大事なことであり、非常に大事な視点だと思います。どのようにガイド、ナチュラリストの養成をしていくというのが非常に重要だと思います。先ほどからジオパークの話をしておりますが、一番大事なことはジオガイドを養成し、ジオサイトと言われる地域の魅力をどう感動的に伝えられるかということでもあります。われわれが当たり前だと思っているものが、実は特異で魅力のあるものかを、ガイドひいてはわれわれも認識し、紹介してあげられるかということが非常に大事なことでありますので、そういうことをジュニアの時代から認識し、増やしていくということが非常に大事だと思います。その点は十分参考にさせていただきたいと思います。

次に、Eさんの意見についてです。夕陽、景観がきれいということについては、ストーリーづくりみたいなものが非常に大事だと思っております。そういうところも考えながら、これからの牧場を運営していきたいと思っております。

それから、オーナー制をやったらどうかということも内部で検討中であります。どういう形で、Eさんに牛1頭、〇〇さんになんとか1頭ということで、牧場に関心を持っていただき、投資をしていただけないかというのは大変ありがたいと思っております。

下立の名水のことよく認識しておりますので、そういったところも巡っていただけるようなストーリー作りをしていきたいと思っております。

#### 【事務局】

C様、D様、E様、よろしいでしょうか。それでは、引き続き、ご質問、ご提言等ございましたら。

#### 【石田 Cさん】

市営バスを地鉄に任せる、宇奈月や民宿といった商売敵であるところをうまくまとめるのが市役所や新川広域圏であり、前提で新川地区が発展すればなおよいではないかということをお私に言いたいわけですか。

#### 【市長】

バス会社ともいろいろ協議しております。採算が取れるようであれば、民間の会社でもやっていただけるのですが、採算収支が難しいということになると、補助金等の話もありますので、そのあたり調整しながら進めていきたいと思っております。

#### 【事務局】

それでは、本日のテーマは3つございます。テーマにつきまして、ご提言等ございましたら、挙手をお願いします。

#### 【石田 Fさん】

先ほどの方と同じ、ナチュラリストをやっております。確認が一点あります。先ほど「立山黒部」と出ていたのですが、聞くところによると、「黒部」が先に提案したので、



「黒部立山ジオパーク」と以前聞いていたのですが、どちらが先かはともかく、黒部ではそういう風にやっておられるのかそのあたりお聞かせいただきたいと思います。

立山黒部というと非常に広い範囲ですばらしいところはわかるのですが、立山もあまりどこでも行ってもだめなのですが、間違ってもけがすることはない一方、黒部峡谷に行くと非常に狭いところなので、落ちると命に係わる場所です。たくさんの方が入るとどうなるかということも考えられます。平野の方であれば、多少たくさんの方が出入りしても大丈夫なのですが、そのあたりどのように考えておられるのでしょうか。

もう1つ、黒部の源流は鷲羽岳なのですが、黒部市報を見ても鷲羽岳を含んだ地図がなかなかありません。立山連峰、後立山連峰を含めたような地図を作るという構想は、ジオパークの申請には含まれていないのでしょうか。樺平で説明する際に、地図を2枚重ね、右岸側である後立山は違った地図で見せ、左岸側は立山の地図を見せないと山の構成がわかりません。あまり小さなことばかりに見とれているような感じもするので、そのあたりも教えていただきたいと思います。思いつくままに言いましたが、以上であります。

#### 【事務局】

F様、ありがとうございます。ほかに、どなたかございませんか。

#### 【三日市 Gさん】

まず、新川牧場のことですが、先日の報道で、全国植樹祭の候補地に挙がったということですが、その可能性はどのようなものなのでしょうか。植樹祭の会場となれば、これからの新川牧場の設計図が変わってくるような気がするのです。見通しがあるのであれば、お聞かせいただきたいと思います。

それから、ジオパークについてですが、地元の自然を生かした、大変いい考えだと思います。大変広い地域に亘っており、市町村も確か9つという、たくさんの市町村が関わっておりますので、そのあたりが大変難しいのではないかと思います。うまく協力して、いいジオパークを作っていただきたいと思います。

それからもう1つ、マラソンのことですが、先日コースを見たところ、曲がり角が大変多いです。走る者の立場からすると、90度ぐらい曲がる場所というのは走りにくいのです。まして、お台場のところには、ヘアピンカーブがありますし。現在のコースについてはこれでしかたがないと思いますが、聞くところによりますと、今の8号線が新しく開通した際、新たなコースも考えるというような話も聞いたので、もし次にコースの変更を考えるのだったら、できるだけ曲がり角が少なくなるようにすると、走られる選手にとっては大変走りやすいのではないかと思います。以上です。

#### 【事務局】

G様、ありがとうございました。ほかに、どなたかいらっしゃいませんか。

それではただいま、F様からジオパークにつきまして、G様からは3つのテーマそれぞれにつきましてご質問をいただきました。市長の方から回答をいたします。

#### 【市長】

FさんもGさんも、ナチュラルリストなどやっておられる非常に詳しいお二方から質問を受けました。まず、ジオパークについて、「立山黒部ジオパーク」構想と、研究会で決定をされているところです。以前「黒部立山ジオパーク」という言い方もあったわけですが、今は「立山黒部」ということであります。

ジオパークに対する考え方、認識については、地形や地質、岩石にこだわるよりも、それらの地域の特長を活かした社会、歴史、文化といった人の営みといったものの方が大事にされると思います。そういう意味では、3,000mから海底1,000mで4,000mの標高差であり、厳しい環境のところもありますから、誰でも行けるような紹介の仕方はできないと思っております。特に、黒部川の源流などにつきましては、十分注意していかなければならないと考えております。そこで、行政的にいいますと、自分の地域以外の場所を紹介したり、地図に乗せたりというのはなかなか厳しいところでもあります。このジオパークとして、4市4町1村の9自治体で連携が取れ、これを活かしていこうということであれば、鷲羽岳は富山市にありますので、富山市から立山町、上市町から黒部市という流域の中心となる場所などが連携しながら、紹介などができればよいのかなと考えているところがあります。ぜひ9つの自治体が連携して、ジオパークを活かすことができればよいのかなと思います。

続いて、Gさんが言われた植樹祭の件であります。魚津市、黒部市がエントリーし、もう一つエントリーをしております。年内には候補地が決定されると聞いております。それぞれ条件をきちんと十分満足しているところはありませんが、黒部市におきましても新川育成牧場を利用した植樹祭はできないと思っております。なぜなら、9割以上が借地でありまして、借地に対して、天皇陛下が来られるような植樹はできませんから、やるとすると、市の土地の市有地であって、ずっと管理できる土地ということになります。条件としては、かなり厳しいところがあるのではないかと思います。ぜひ黒部市での実施をということで申請しましたので、認定を受けられればありがたいと思っております。

それから、マラソンのコースにつきましては、来年5月の第31回大会のコースは日本陸連の認定をいただいておりますので、さきほど説明いたしましたコースでフルマラソンを実施したいと考えております。その後、再来年の3月には8号バイパスが供用開始しておりますので、その年の5月の大会はもう少しコースの見直しをしたいと思います。特に考えておりますのは、市街地である三日市を通るコース設定ができないか、特にメイン道路や新しい庁舎前あたりを通れるようなコース設定ができないかという調査をしております。国道8号線を通行規制し、横断するコースは許可となりませんので、前沢地区の地下道をくぐっていくようなコース設定となっております。ですから、警察との協議もしなければなりません。8号バイパスが完成し、現在の8号線が県道に格下げになった時は今の8号線の横断するコースが許可される可能性があります。その際は、コース変更し、三日市の市街地を通り、できるだけ曲がり角の少ないコース設定に直す必要があるところは直したいと思います。

#### 【事務局】

F様、G様、よろしいでしょうか。まだ、時間ございますので、この際ですので、どなたからでも結構です。発言される方はおられませんか。

【大布施 Hさん】

立山黒部ジオパークの認定を機会に、黒部市でも勉強会をやっていただけないかなと思います。先ほど、ナチュラリストのジュニア育成の提案やジオガイドの必要性も言われました。ジオパークの認定、それから、新幹線開業ということで間違いなく観光客が来られると思います。しかし、観光客が来ても、地域の人がお客さんのもてなし方を知らなければ、たぶん2度目は来ないと思います。もてなすためには、地域のことを知らなければいけない。知るためにはみんながこの地域を好きにならなければならない。地域のことを好きになるためには地域のことを知らなければならない。知るための勉強会を開いてほしいなと思います。子供もいいのですが、大人の勉強会ということで、富山県内でも、例えば、小矢部の元気道場、南砺の七転び八起き塾と、あと、ちょっと違いますが、魚津でも三太郎塾とか、行政が主体となった勉強会を開き、地域のことを知ってもらって好きになるという施策を行ってられる自治体もあります。また、私も隣の魚津で魚津学び塾というのをやらせていただいておりますし、また、高岡でもどらやきクラブとか、そういった民間でも勉強会というのをどんどんやっています。そういうことで勉強もするのですが、人と人とのつながりができて、より地域の人と人とのつながりが強くなって、地域を守ろうという力が出てくると考えますので、ぜひやっていただきたいなという提案です。よろしくお願いします。

【事務局】

H様、ありがとうございます。他にどなたかおられないでしょうか。

【浦山 Iさん】

私もナチュラリストですが、ロードレースのことでちょっとお伺いします。フルマラソンは42.195kmという変な数字ですが、聞くところによると、イギリスの王室が決めたコースだそうですが、これは黒部でもそうしなければならないのでしょうか。例えば、42kmや43kmとか40kmなど、わかりやすい数字の方がピンときやすいものですから。それとも、そこは定義として絶対に曲げられない数字なのでしょうか。

それと、先日ありました高校駅伝に私も見に行っていたのですが、市外の方も応援に来たり、たくさんの方にお会いしたのですが、黒部市に住む私でさえ、広報に入ってきていたチラシでは、市外の方に、ここの〇コースはどこでバトンを受けたりする場所はどこでしょう、と聞かれたのですが、私自身もその場所をお教えできなかったことがありました。マップを作られる際は、市内外ともにわかりやすい、目ぼしい信号や銀行などを入れてほしいと思います。今ありましたコース図はトヨックスなどが入っていましたが、そのように目印とともにゴールなどを示したわかりやすいマップにしていきたいと思います。

それと、もう一つよろしいでしょうか。今ほど、樺平のビジターセンターの話がございましたが、同じマップの話で、案内する、おもてなしをするという意味でのわかりやすいマップを早急にお願ひしたいと思います。予算の時期でもありますし、検討課題に入れていただきたいと思います。せっかく県内外から来られるのに、秋ごろにはマップがなくなり、コピーで地図を渡すという状態になっておりましたので、年間を通したものとして

考慮していただきたいと思います。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。ほかにどなたかおられますか。

【浦山 Dさん】

すみません。重ねてですが、新川牧場の年間活動の拠点にしたいという案がございました。私たちは冬場にスノーシューの自然観察会をやっておりますので、そういったことも利用されたらどうかと思い、提案させていただきます。それと、星空観察にも恰好の場所かなと思います。夜は行ったことはないのですが、とてもよいところではないかなと思います。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。ただいま、H様からジオパークの勉強会について、I様からフルマラソンとジオのマップについて、D様から牧場の活性化について、ご意見をいただきました。市長から回答いただきたいと思います。

【市長】

まず、Hさんの話ですが、おっしゃるとおり、地域を知るということは非常に大事だと認識しております。そこで、ジオパークの研究会があって、いろいろ検討していただいております。来月の初旬に、民間の経営者などが中心となって、県東部の2市2町で協議会として正式に発足することとなります。これ、協議会の日は決定したのか。言ってもよいのか。

【事務局】

結構です。

【市長】

12月9日に正式にジオパーク構想の協議会が発足します。いろいろな方々にご協力いただいております。代表になる予定であります中尾哲雄さんには承諾をいただいております。かなり経済界の主だった方々が加わった協議会を発足し、県東部がまとまってジオパーク認定に向けて動き出すべきだにご理解いただいております。先ほどもありましたジオガイドの養成は非常に大事だと思っております。そのための勉強会などを県東部のエリアを行うのか、いろいろな地域ごとで行うのかをそれらを含めて検討していただけるというふうに思います。

それと、もう1点、行政が主体となって、こういう勉強会をするのかということにつきましては、研究会も民間の方々が中心となって、これまで熱心にやってこられて、また、認定に向けての協議会も発足し、それも民間の方々が中心となって、熱心に活動をしていただけるということで話を聞いておりますので、それをわれわれ行政は支援組織として、できれば、4市4町1村の9自治体が一緒になってそれを支援していくという体制が整え

ば一番理想的かなと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。また、勉強会にも参加いただければと思います。

次、Iさんからいただきました駅伝のコースのわかりやすさといいますか、先ほどのコース図も少しわかりにくいところもあるのですが、もう少しわかりやすいコースマップを作る必要があるということと、先ほど私がお願いしたボランティアの方も大事なのですが、なによりも沿道で声援を送っていただく方も大事であります。どこか道で声援を送ってほしいと言っても、なかなかどこへ行ったらよいかわからないという方も多いと思います。やはり、地域でぜひ声援を送っていただきたい、行きやすいようお願いの仕方、例えば、前沢地区を通る時はこのあたりでまとまって地域で応援しましょうという、どこへ行けばよいかわかるようなマップも作成したいと思います。それから、ジオに関して、ビジターセンター周辺のマップ作りにつきましても、ぜひわかりやすく魅力を感じられるようなマップを作っていきたいと思います。

次に、最後のDさんの件ですが、牧場の活性化のために、冬、モーガーデンという現在の物販を行っている場所についても、冬営業するかということについても、人が来られなければ営業しても採算が取れませんので、いろんな冬の牧場の利用についても促進しながら、冬は週末だけなのか、通年なのか、営業できればいいのかなと思っております。スノーシューや星空観測などのいろんなイベントが考えられると思いますので、興味を持っておられる方にもいろいろご意見をいただきながら、進めていきたいと思います。

#### 【事務局】

H様、I様、D様、よろしいでしょうか。それでは、最初にお話ししておりました終了の時間が近づいております。あと、お1人か2人に限らせていただきたいと思います。最後にご発言したい方はおられないでしょうか。

#### 【大布施 Jさん】

大布施の住人です。先ほど、ジオパークの認定の中に黒部扇状地というのがテーマの中になかったかと思います。黒部扇状地というのは日本でも有数の扇状地であり、黒部川が育んだ農業というのも絡めて、ジオパークという名の下では使ってもよいかと思います。先ほど、湧水もありましたので、扇状地が見渡せる新川牧場をお示されるとよいかかなと思います。

#### 【事務局】

ありがとうございます。どなたかおられますか。

Cさん、どうされますか。簡潔にお願いします。

#### 【石田 Cさん】

新幹線で降りた場合に宇奈月や峡谷、石田浜などあるかもしれませんが、観光にはお土産が付きものです。黒部の泡水というのもあり、大変苦労して作られたことかと思いますが、インパクトがありません。ブラックラーメンや白エビのせんべいなど、もっと黒部の駅で降りて、あ、こんな有名なお土産があるという全国に知れ渡るようなインパクトのあ

るものをと 생각합니다。サイダーもよいのですが、名水を使ったまんじゅうでも。大変苦勞して作られたのはわかるのですが、もう1つ何かインパクトに残るお土産をと 생각합니다。

**【事務局】**

ありがとうございました。ただいま、J様から、ジオの資源に扇状地が入っていないということ、C様からはインパクトのあるお土産につきましてということでした。最後に市長から回答をいただきたいと 思います。

**【市長】**

まず、扇状地の件についてですが、扇状地というのは、この県東部の、ジオパークを想定している黒部川流域の中でも最も大事なジオサイトの1つだと思っております。もともとは愛本まで海だったものが、黒部川の大きな流れで海を埋め立てていって、13.5kmの、60度の典型的な扇型の扇状地を作り上げたということは、北アルプスという山があって、そして、そこに年間4,000mm程も降る雨や雪があって、いろいろな地形や気象が関わってこの扇状地を作りあげたということは、我々にとっては大変大きなジオサイトであると思っております。それがあるからこそ、生地に700カ所以上も湧水として湧き出ているのであります。砂礫層であるからこそ湧き出ているのであって、そういう意味では、この黒部川扇状地というのは、ジオサイトの中でも最も重要なサイトの1つだと思っておりますので、さきほどの説明にも、映像にもなかったということありますが、その点は十分やっていきたいと思っております。

それから、Cさんのお土産の話であります。ちょっと離れますが、新幹線開業まで480日ほどであります。その中で、お土産のヒット商品を作るというのはそう簡単なことではありません。いろいろな商品開発など努力をして、何十、何百というなかで1つか2つ有名な商品が出てくるという認識でやらなければならないと思っております。いろいろな取り組みをやってみて、そこで、できるだけ早く、ヒット商品をいくつかを生み出していきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと 思います。

**【事務局】**

ただいまの回答でよろしいでしょうか。これまで、いろいろなご意見をいただきました。予定の時間も過ぎておりますので、以上で本日のタウンミーティングを閉じさせていただきますと 思います。

それでは、閉会にあたりまして、堀内市長から本日お集まりいただきました皆様へのお礼を含めまして、ごあいさつを申し上げます。

**【市長】**

皆さん方におかれましては、寒い中、たくさんの方々に熱心にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、たくさんのご意見やご質問を賜りました。マラソンの件、牧場の件、ジオパークの件など新幹線を契機にいろいろな取り組みをして、この地域の活性化、交流人口の拡大を進めていきたいと思っております。すぐには、完全なことはできませんが、皆さん方からいろいろなご意見をいただきながら、一步一步前進をさせ

ていきたいと思ひます。それぞれの事業におきましては、大変大きな事業であります。苦  
労も困難もあると思ひますが、新幹線開業というのは半世紀、1世紀に1度の大きなチャ  
ンスであると思ひておりますので、これらの取り組みをしながら、この大きなチャンスを  
活かして、この地域の発展につなげたいと思ひております。引き続き、皆様方のご理解、  
ご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げて、お礼のあいさつに代えたいと  
思ひます。本日は大変ありがとうございました。

**【事務局】**

それでは以上で、タウンミーティングを終了いたします。お忘れ物のないよう、また、  
お気をつけてお帰りいただきたいと存じます。

なお、受付時にお配りいたしました青い紙のアンケート、こちらの方のご協力をよろし  
くお願いいたします。また、クリアファイルは本日の参加記念としてお持ち帰りください。  
また、クロークにコート、傘等をお預けの方はお忘れのないよう、クロークでお受け取り  
いただきたいと思ひます。

本日は進行にご協力をいただき、ありがとうございました。本日はどうもありがとうご  
ざいました。

— 了 —